

令和2年度 都立学校・学校経営シート

校章	 都立小金井特別支援学校		知的障害	基	通学区域	武蔵野市(一部)、小金井市、小平市		
	朝日の学校と期待の笑顔 ー毎朝、児童・生徒が期待の笑顔で登校する学校を目指してー				進路実績	知的障害特別支援学校高等部普通科		
基	所在地	〒184-0005 小金井市桜町二丁目1番14号	電話番号	042-384-6881	本 情	教 育 課 程 特 徴	①	人権教育の推進
	アクセス	(1) JR中央線 武蔵小金井駅 徒歩約15分 (2) 西武バス 本町四丁目 徒歩約3分					②	授業づくり(自閉症教育の充実)
設置学部	小学部、中学部			③			キャリア教育の推進	
幼児・児童生徒数	172名(小学部119名、中学部53名)			④			地域関係機関との連携及び公共交通・施設利用の充実	
学級数	38学級(小学部26学級、中学部12学級)			⑤			オリンピック・パラリンピック教育及び芸術教育の推進	
報	スクールバス	7台(中型6台、小型1台)			副籍実施状況	実施率82%		
	その他				学校評価	アンケート回収率:保護者98%、児童・生徒(聴き取りを含む)100%、教員100% 実施時期:7月		
					ホームページ	http://www.koganei-sh.metro.tokyo.jp/site/zen/		

目指す学校 人権を大切にす学校、児童・生徒のもつ可能性を伸ばす学校、障害の特性に応じた専門的な指導力を発揮する学校、共生社会の実現に向けたインクルーシブ教育システム構築のため地域の特別支援教育の推進に貢献する学校、地域の関係機関と連携し本人・家庭を支援する学校、施設環境と設備を改善する学校、「チーム小金井」の責任ある組織人として教職員一人一人が教育及び校務に取り組む学校

今年度の重点目標		今年度の取組と自己評価														
目標①	人権を尊重した教育の推進 1 児童・生徒への適切な呼名の仕方や言葉かけの徹底 2 体罰や不適切な指導の根絶 3 校内人権月間の設定及び人権研修による教職員の人権意識の向上															
目標②	児童・生徒のけがや事故のない、安全・安心な学校の実現 1 事故防止及び事故対応のための訓練の実施 2 ヒヤリハットの迅速な報告による共有 3 地域関係機関と連携した宿泊防災訓練及び避難訓練の実施															
目標③	副籍制度による交流の充実 東京都特別支援教育推進計画(第二期)の政策目標「副籍制度の利用率(直接交流又は間接交流実施率)平成38年度目標値小80%以上、中50%以上」の達成に向けて 1 コーディネーター通信、利用者との座談会等を通じた啓発 2 市教委と連携した研修会及び啓発活動															
数 値 目 標	今年度の数値目標の内容					29年度		30年度		31年度		今年度		3年度	4年度	5年度
		目標	実績	目標	実績	目標	実績	目標	実績	目標	実績	目標	実績	目標	目標	目標
	目標①	児童・生徒の呼び方や言葉かけに関する保護者アンケートでの満足度(%)	100	98	100	95	100	88	100			100		100	100	100
	目標②	児童・生徒の骨折、頭部へのけが、行方不明等の年間事故発生件数(件)	0	0	0	2	0	1	0			0		0	0	0
目標③	副籍制度の利用率(小・中合わせた直接交流又は間接交流実施率)(%)	25	41	45	67	45	82	80			80		80	80	80	

「朝日の学校と期待の笑顔」へ、チーム小金井一丸となって・・・

目標 ← 改善・充実 方策

体罰・暴言・いじめ等不適切な指導ゼロ
障害特性（自閉症含む）に応じた専門的指導

改善・充実

人権の尊重、全児童・生徒に対する「姓+さん、くん」
外部専門員の活用等による指導内容・方法の充実、アセスメント、カリキュラム・マネジメント

個々のニーズに応じた指導の徹底
子供のけがや遊出などの事故防止

改善・充実

学校生活支援シート・個別指導計画の活用
施設・設備の安全管理、関係者間の連携・引継の徹底

地域に関かれ、連携・協力、地域支援
個人情報紛失、サービス事故ゼロ

改善・充実

センター的機能の発揮、情報の積極的な発信
個人情報の適切な管理、サービス事故の防止、予算の適正な編成・管理・執行

専門性の向上、豊かなコミュニケーション
会議の精選・効率化、定時外在校時間の減少

改善・充実

特支免許、研究・研修、OJT、正しい日本語
働き方改革、ライフ・ワーク・バランス、イクボス

P D C A サイクルで改善・充実